

株式会社オートバックスセブン 第75期 定時株主総会



2022年6月23日

監査等委員会による 第75期の監査報告

事業報告

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

財産および損益の状況

財政状態、経営成績の概況

連結損益計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日まで)

	75期		74期
	実績	前期比	実績
(単位:百万円)			
連結売上高	228,586	+3.7%	220,449
売上総利益	77,150	+5.3%	73,288
売上総利益率	33.8%		33.2%
販管費	65,598	+4.6%	62,711
営業利益	11,552	+9.2%	10,577
営業利益率	5.1%		4.8%
経常利益	11,246	+0.2%	11,219
親会社株主に帰属する当期純利益	7,010	▲0.6%	7,050

連結損益計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日まで)

	(単位:百万円)	実績
特別利益		計
		—

	(単位:百万円)	実績
減損損失		238
特別損失		計
		238

連結損益計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日まで)

	75期		74期
	実績	前期比	実績
(単位:百万円)			
連結売上高	228,586	+3.7%	220,449
売上総利益	77,150	+5.3%	73,288
売上総利益率	33.8%		33.2%
販管費	65,598	+4.6%	62,711
営業利益	11,552	+9.2%	10,577
営業利益率	5.1%		4.8%
経常利益	11,246	+0.2%	11,219
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,010	▲0.6%	7,050

連結損益計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日まで)

	実績
1株当たり当期純利益	89円17銭
売上高当期純利益率	5.1%
自己資本当期純利益率(ROE)	5.7

報告セグメント別業績

		75期	前期比	74期
(単位:百万円)				
国内オートバックス 事業	総売上高	178,274	+0.2%	177,937
	営業利益	20,343	+8.5%	18,756
海外事業	総売上高	11,084	+10.0%	10,077
	営業利益	▲321	—	▲172
ディーラー・ BtoB・オンライン アライアンス事業	総売上高	48,527	+17.2%	41,408
	営業利益	▲339	—	▲287
その他の事業	総売上高	5,003	+44.1%	3,471
	営業利益	▲795	—	▲518
調整額	営業利益	▲7,333	—	▲7,201

国内オートバックス事業

国内オートバックスチェーン全業態の売上高

前期比 既存店 0.8%増加（全店 +1.0%）

- 上期 外出自粛などの影響を受け客数減少
- 下期 感染者の減少にともない
売上・客数ともに回復傾向
- 寒波により冬季用品の需要が拡大

国内オートバックス事業

夏タイヤ、オールシーズン
タイヤが好調



寒波や降雪による冬季用品
を戦略的に獲得し好調



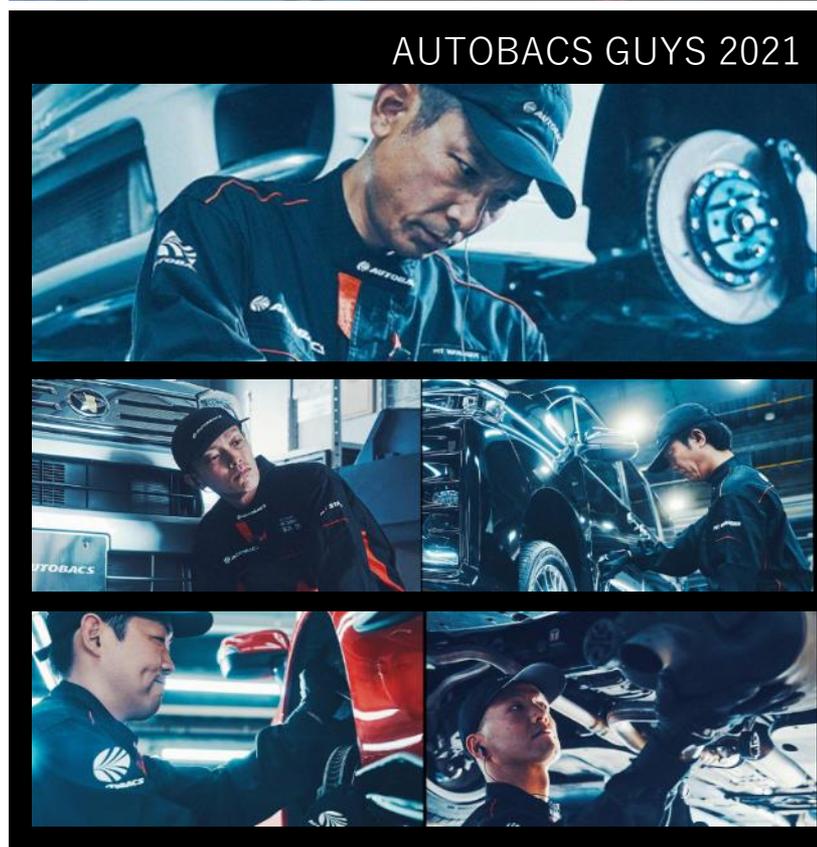
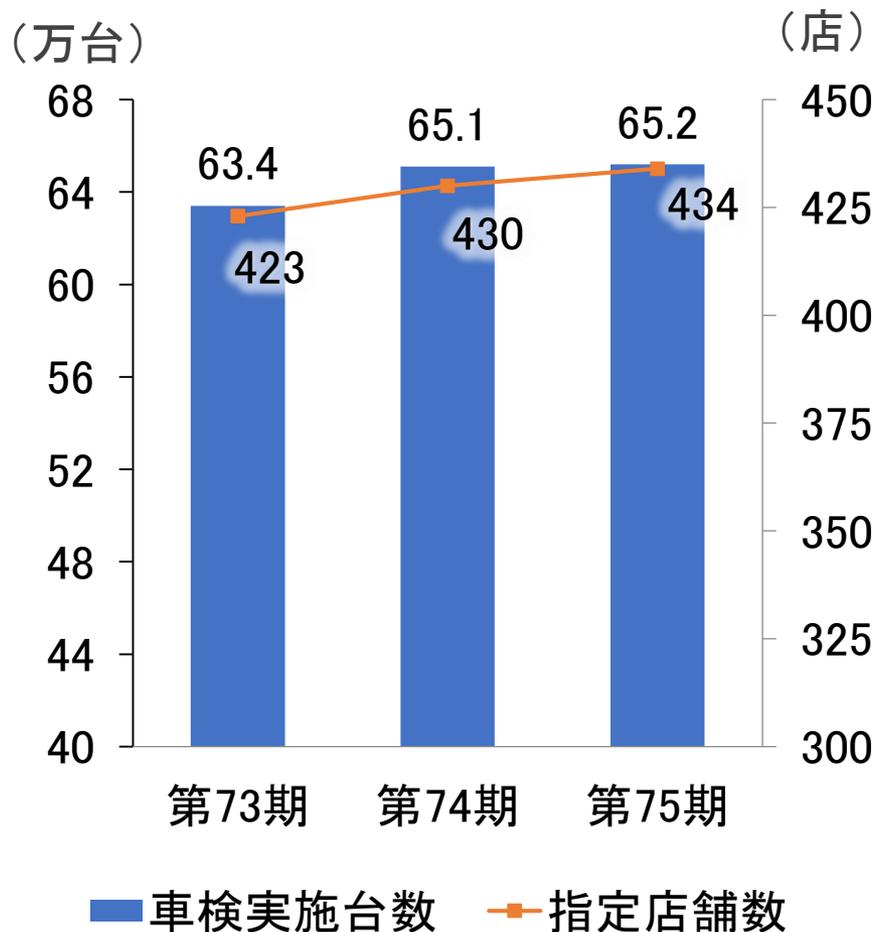
世界的な半導体不足が影響し、カーエレクトロニクス
は減少



国内オートバックス事業

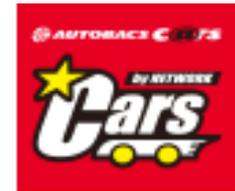
車検・整備

車検実施台数と指定店舗数

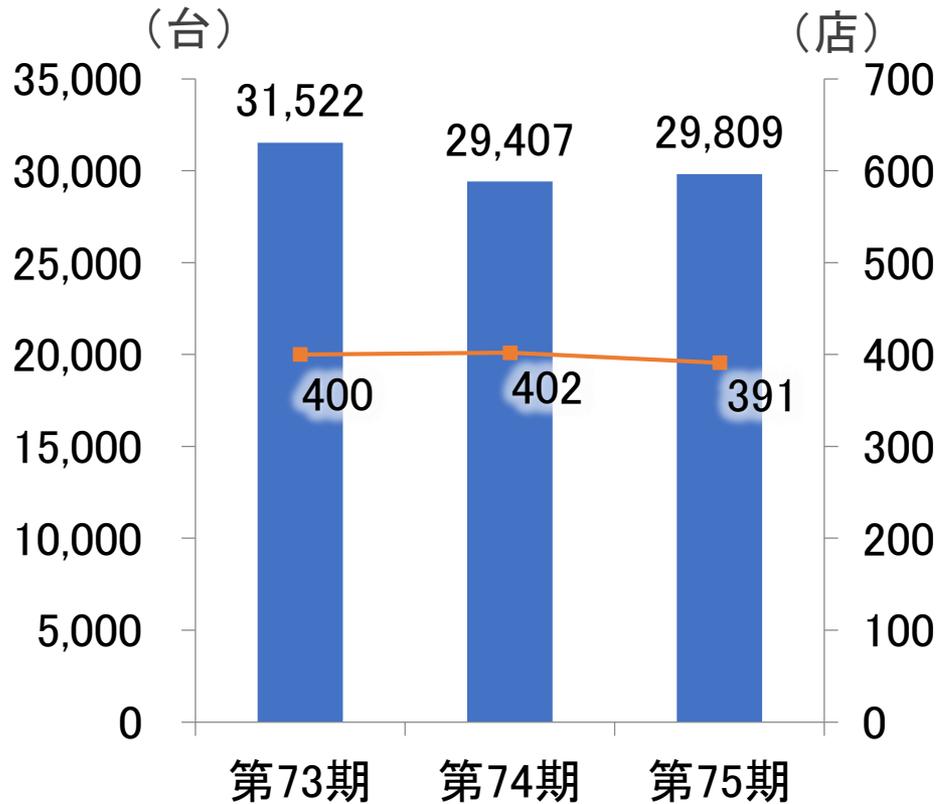


国内オートバックス事業

車買取・販売



車買取・販売 台数とカーズ加盟店舗数



■ 車販売台数 —■— カーズ加盟店舗数

※販売台数は車買取専門店を含む



海外事業（小売・サービス事業）

フランス

- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けたが、売上は回復傾向



シンガポール

- ・感染拡大が著しく、外出自粛や行動制限の影響を受け、売上減少



海外事業(卸売事業)

オーストラリア

- ・カーエレクトロニクスや無線機が堅調
- ・卸売先の開拓や新規OEM商品の導入を進め売上が増加



中国

- ・新規卸売先の獲得に苦戦
- ・中国国外への卸売の開拓を進め売上が増加



ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業

ディーラー事業

- ・ Audiの正規ディーラーの運営開始
- ・ 半導体不足による新車の減産の影響を受けるも、営業活動の最適化などにより、前年同期を上回る収益。



BtoB事業

- ・ (株)ジョイフル車検・タイヤセンターの全株式を取得し、屋号をAUTO IN車検・タイヤセンターとして運営開始
- ・ 日産自動車と業務提携 新車カタログにカー用品掲載、インテリアアイテムを企画・開発



オンラインアライアンス事業

- ・ ECサイトの品ぞろえを強化し、ナショナルブランドタイヤや、日産NISMOブランド商品の取り扱いを開始



連結貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部	負債の部
189,910 (+1,996)	67,018 (+2,937)
	純資産の部 122,892 (▲941)

(注)カッコ内数字は前会計年度からの増減額

内 容	該当ページ
財産および損益の状況の推移	20ページ
設備投資の状況	33ページ
資金調達状況	
当社グループの主要な事業内容	
当社の主要な事業所	
重要な子会社の状況	34ページ
重要な関連会社の状況	
従業員の状況	
主要な借入先および借入額	
その他当社グループの現況に関する重要な事項	

内 容	該当ページ
株式の状況	35～36ページ
会社役員の状況	37～41ページ
会計監査人の状況	41～42ページ
当社のコーポレート・ガバナンス	42～46ページ
会社の体制および方針	47ページ
連結株主資本等変動計算書	50ページ
連結キャッシュ・フロー計算書	51ページ
個別貸借対照表 個別損益計算書 個別株主資本等変動計算書	52～54ページ

インターネットにて開示の項目

内 容	
事業報告	
	内部統制システムに関する基本方針およびその整備・運用状況の概要
	会社支配に関する方針
連結計算書類	
	連結注記表
計算書類	
	個別注記表

経営方針、経営環境
および
対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境

- 新型コロナウイルスによる影響の長期化
- 地政学リスクの増大
- 資源価格の高騰、物価上昇

当社グループを取り巻く事業環境

- カーボンニュートラルの実現に向けたパワートレインの電動化
- 「自動運転」、「運転支援機能」に代表される先進安全技術の開発・普及
- 業種・業態を越えた競争が激化
- 自動車整備士の不足
- 少子高齢化による顧客構成の変化やニーズの多様化

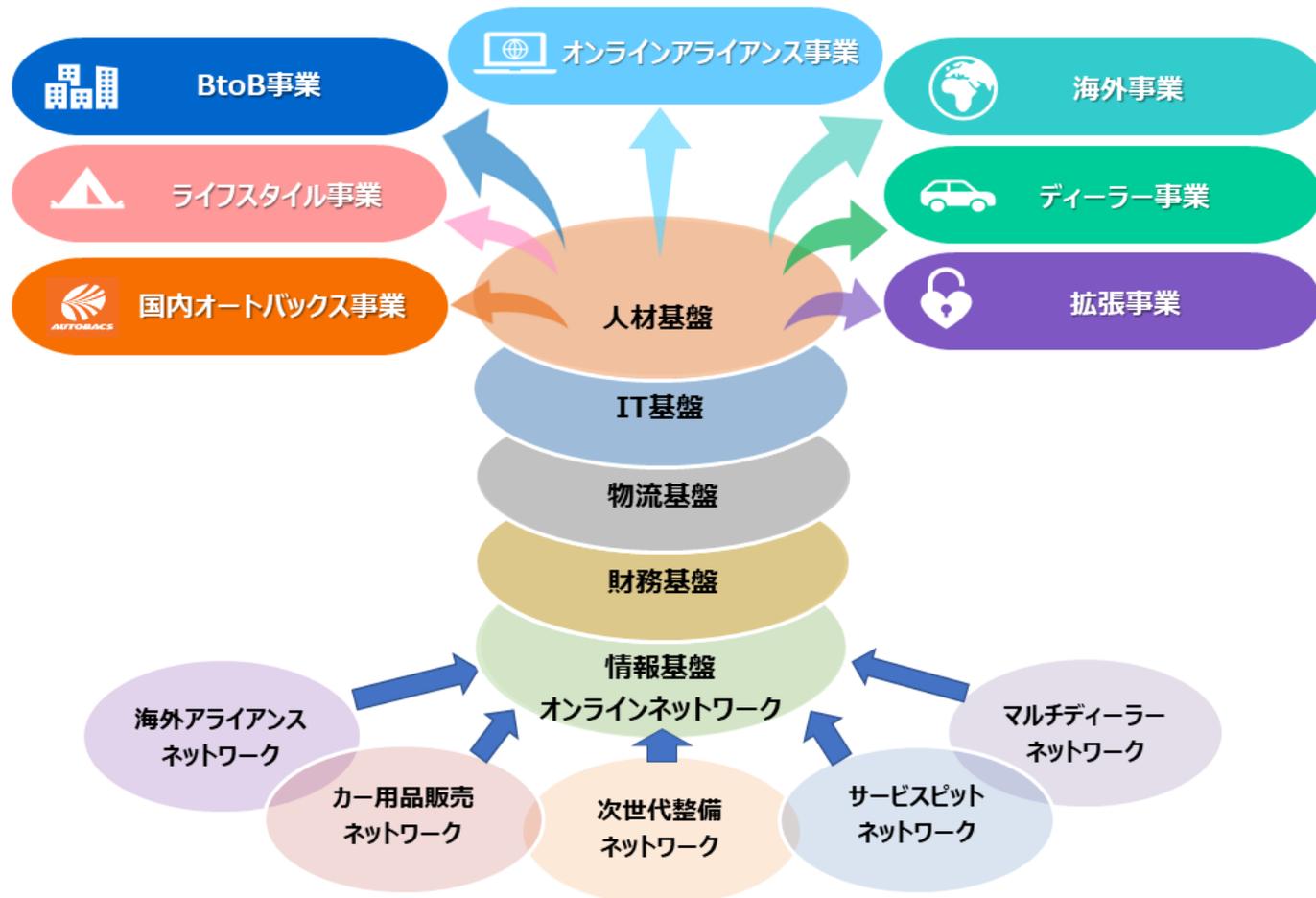
対処すべき課題

- より成長の可能性の高い領域への集中
- 大きく変化する社会環境に対応

持続的成長に向け、ネットワーク、
事業基盤の強化、事業の推進を図る

5カ年ローリングプラン

- 持続的成長に向け
ネットワーク・事業基盤の強化、事業の推進を図る



事業ごとの取り組み施策

事業	取り組み施策
国内オートバックス事業	<p>～市場競争力を高める～</p> <ul style="list-style-type: none">・ 調達力の強化、サプライチェーンの改革・ 新たな商品・サービスの開発・ 店舗オペレーションの改善、整備士を始めとした人材育成



事業ごとの取り組み施策

事業	取り組み施策
海外事業	<ul style="list-style-type: none">卸売事業を中心にスピード感を持った事業展開で収益拡大
ディーラー事業	<ul style="list-style-type: none">オペレーションの改善、人材育成を通じて収益拡大
BtoB事業	<ul style="list-style-type: none">販路拡大や 新たなサービスの提供を通じて、さらなる収益機会の創出
オンラインアライアンス事業	<ul style="list-style-type: none">EC事業のさらなる強化、ネットショッピングとリアル店舗の融合を推進
ライフスタイル事業	<ul style="list-style-type: none">クルマを中心とした独自のライフスタイルをネット販売と店舗展開することで、新たなマーケットを創造
拡張事業	<ul style="list-style-type: none">保険の見直し・集約で、オートバックスチェーン全体の収益改善新たなモビリティ市場への挑戦、交通に関わる社会課題の解決に取り組み、サステナビリティ・トランスフォーメーションを推進

事業基盤の取り組み施策

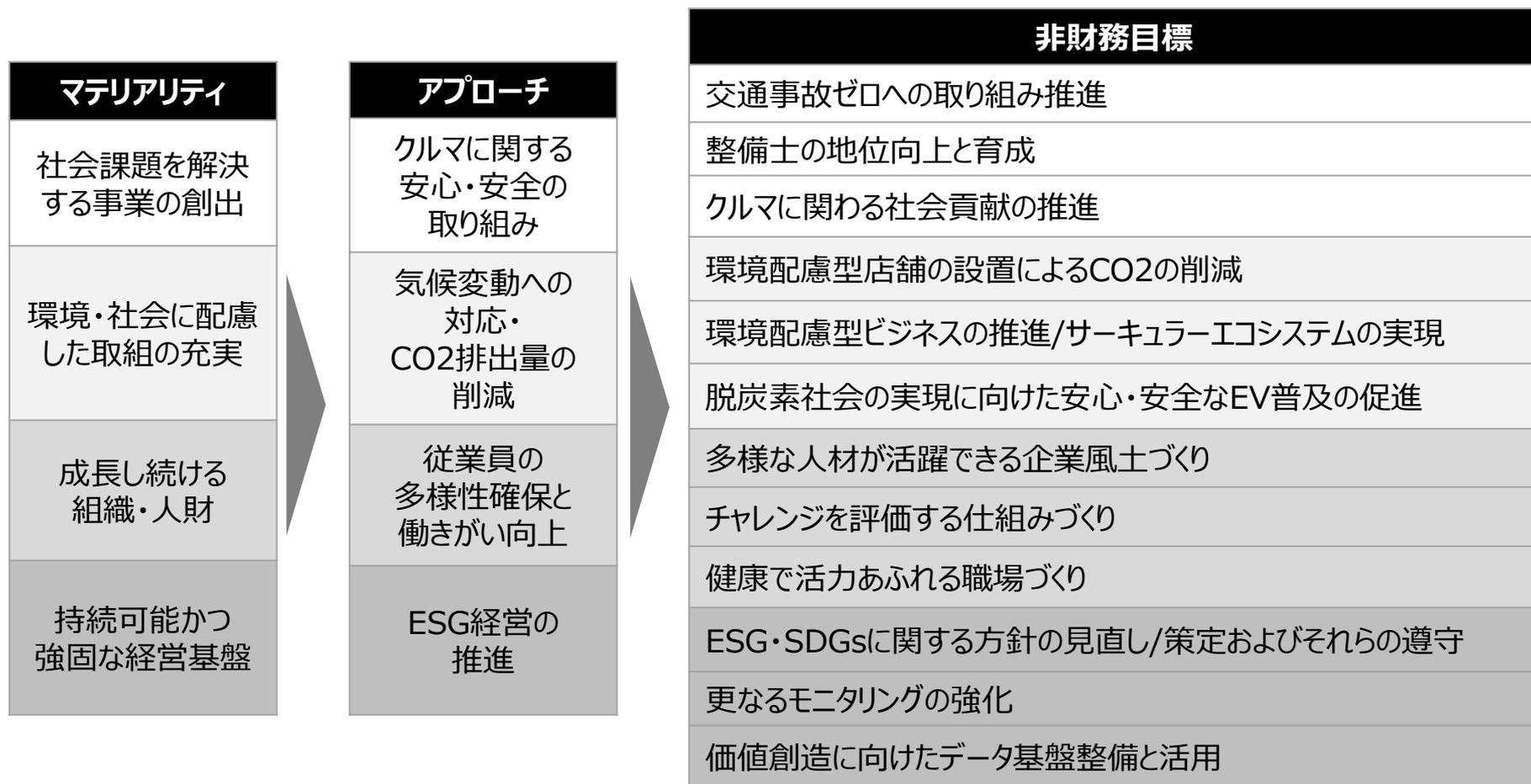
事業基盤	取り組み施策
人材基盤	<ul style="list-style-type: none">・ 人材育成、働き方改革・ 挑戦する組織となるための仕組みづくり
IT基盤	<ul style="list-style-type: none">・ 柔軟かつ強靱なITシステムの確立、リスク管理強化・ IT戦略、デジタルトランスフォーメーション戦略の両輪によるビジネスモデルの変革
物流基盤	<ul style="list-style-type: none">・ 既存事業における物流の仕組みの効率化・ EC事業などの拡大に対応する物流機能を新たに構築
財務基盤	<ul style="list-style-type: none">・ 事業ポートフォリオの見直し・ 各事業単位で管理・見える化を図り資本効率を向上
情報基盤	<ul style="list-style-type: none">・ 情報を収集・整備し、情報活用に向けた基盤を構築・ 社内外における情報共有と連携の強化、新たなビジネスやサービスの創出

サステナビリティ

当社が目指す社会

「人とクルマと環境が調和する安心・安全でやさしい社会」

マテリアリティ(重要課題)を達成するための非財務目標



株主還元

- 5年間の累計総還元性向100%を目安とする
- 安定的かつ機動的な株主還元を図る

2023年3月期の見通し

連結業績計画

売上高	2,300億円
営業利益	100億円
経常利益	103億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	69億円

オートバックスセブン・ビジョン 2050未来共創

プロフェッショナル&フレンドリー

